

暖か	暖かやお尻で磨く滑り台	2020. 8. 6	離祭	頭だけ替へる剃刀花の夜	2020. 9. 9
春	塵埃浮きたる春の畳かな	2020. 9. 15		頭だけ替へる剃刀離祭	2020. 9. 15
	塵埃明るき春の畳かな			頭だけ替へる剃刀離の夜	
	よく弾む春の体をどうしよう	2020. 9. 24		頭だけ替へるカミソリ離の夜	2020. 9. 25
	よく弾む春の体を如何せん		桜餅	桜餅一人で食べて甘きかな	2020. 9. 15
	よく弾む春の体の行方かな			桜餅一人で食べてみて甘し	
	弾み易き春の体の行方かな			桜餅一人で食べる甘さかな	
	スキップで弾むは春の体かな	2020. 9. 26		桜餅一人で食べる茶も淹れて	
	スキップで春の体が駆けてくる			桜餅一人で食べて二つかな	
	スキップで春の体が飛んでくる		桜餅一人で食うて二つかな	2020. 9. 16	
二月	四月号二月の末に出でにけり	2020. 9. 15		桜餅一人で食べる二つかな	
	四月号二月の末に早も出づ		潮干狩	立ち上り人の見渡す潮干狩	2020. 9. 15
	現し世の二月の末の四月号	2020. 9. 16		立ち上りぐるり見廻す潮干狩	
	仮の世の二月の末の四月号			立ち上りぐるりを見るや潮干狩	
	仮の世の二月下旬の四月号	2020. 9. 18		立ち上りぐるりを見るは潮干狩	
夢の世の二月の末の四月号	2020. 9. 25	立ち上りぐるりと見やる潮干狩			
春の雲	春雪に絵本の一字一字かな	2020. 9. 15		立ち上りぐるりと見るや潮干狩	2020. 9. 16
	春の雲絵本の一字一字かな			立ち上りぐるりを見るや潮干狩	2020. 9. 18
春夕焼	ゆふやけの春うつくしや人もまた	2020. 9. 15		立ち上り見やるぐるりの潮干狩	
	ゆふやけの春うつくしや星もみゆ	2020. 9. 16		立ち上り見るやぐるりの潮干狩	2020. 9. 19
春の川	つんつんと春の川面となりにけり	2020. 6. 15		立ち上り見るや周囲の潮干狩	2020. 9. 20
	つんつんと春の川面の忙しき			立ち上り見るは周囲の潮干狩	2020. 9. 21
	つんつんと春の川面をつつくもの			立ち上り見やる周囲の潮干狩	
	つんつんとつついて春の川面には			立ち上り周囲を見やる潮干狩	
	つんつんと春の川面の水輪かな			立ち上り辺りを見やる潮干狩	2020. 9. 24
	つんつんと春の小川の水面かな	2020. 7. 19		立ち上り見るや辺りの潮干狩	2020. 9. 25
	つんつんと春の小川に生れしもの	2020. 9. 10		腰伸ばし見るや辺りの潮干狩	
春燈	春燈の大いなるかな春の月	2020. 6. 4		腰伸ばし見るや周りの潮干狩	2020. 9. 26
	春燈の大なるものに春の月	2020. 6. 15	大試験	秒針のひたひた迫る大試験	2020. 6. 4
	春燈の最も大き春の月			秒針のひたひた廻る大試験	2020. 9. 14
	春燈のこれは大きな春の月		入学	湯の町を新入生の通るかな	2020. 9. 24
		湯の町を新入生の登校す			
春眠	春眠の続きに浮ぶ句ありけり	2020. 7. 9			
	仲良きは春の眠りと赤ん坊	2020. 7. 24	花衣	帰り来て部屋の暗さよ花衣	2020. 9. 13
	仲良しは春の眠りと赤ん坊				
	春眠といふ菓子ありぬ買うべかり	2020. 7. 24			
	春眠の宿に落花の限りなし	2020. 7. 24			
春眠の袋を破り種を出す	2020. 9. 10				
春の風	代診の先生若し春の風邪	2020. 9. 9			
邪	代診の先生若し梅真白	2020. 9. 20			

蝶	すぐ行けるところに二階蝶の昼	2020. 9. 15	初夏	初夏のこれが一番白い服	2020. 7. 14
	階段を上ると二階蝶の昼		夕立	海に降る夕立は徒労ではないか	2020. 9. 24
	階段を上れば二階蝶の昼			海に降る夕立徒労ではないか	
	階段で繋がる二階蝶の昼	2020. 9. 16		夕立の海を叩ける徒労かな	
	一階に重なる二階蝶の昼			夕立の海を叩くは徒労とも	
	一階の上なる二階蝶の昼	2020. 9. 18	片蔭	片陰を勝手口へと廻りけり	2020. 9. 8
	一階の上には二階蝶の昼			片陰を勝手口へと廻されて	
	一階にかぶさる二階蝶の昼			片陰を通用門の方へかな	
	一階より高きに二階蝶の昼			片陰を通用門の方へ行く	
	一階より高きは二階蝶の昼			片陰を通用門へ廻りけり	
一階から二階へ上る蝶の昼			片蔭を通用門へ廻りけり		
一階に跨る二階蝶の昼			片蔭を通用門へ廻るなり	2020. 9. 18	
一階の屋根に二階や蝶の昼					
椿	次々に椿の落る月夜かな	2020. 9. 15	夏瘦	夏瘦せてひたに肋の手入かな	2020. 6. 4
芽吹	しみわたる雨に芽吹も遠からず	2020. 9. 15		夏瘦せてひたに肋の手入なり	
チューリップ	花びらに内と外ありチューリップ	2020. 7. 8		夏瘦せて肋の手入れ怠らず	
リップ	花びらに裏表ありチューリップ	2020. 7. 19		夏瘦せて肋見事に揃ひけり	2020. 6. 15
菜の花	菜の花が咲いて明るい月夜なり	2020. 9. 15		夏瘦せて見事に肋揃ひけり	
花	頭だけ替へる剃刀春の夜	2020. 9. 9		夏瘦せて肋の人の立てりけり	
桃の花	桃咲くや黄泉比良坂暗けれど	2020. 6. 5		夏瘦せて肋の人のやや猫背	
	桃咲くや黄泉比良坂暗くとも			夏瘦せて肋の人の背の高き	
	桃咲くや黄泉比良坂ゆるゆると			夏瘦せて肋の人となりにけり	
				夏瘦せて肋の人の美しき	2020. 7. 19
売家と唐様で書く桃の花	2020. 6. 5	柏餅	珈琲に負けぬ強さの柏餅	2020. 9. 12	
桃咲くや唐様で書く三代目	2020.10. 6		珈琲に負けぬつもりの柏餅	2020. 9. 16	
			珈琲に負けてはならじ柏餅	2020. 9. 24	
		鯉幟	吹く風に縦一列や鯉幟	2020. 7. 9	
			吹く風に縦一列の鯉幟	2020. 9. 8	
		蝉	新しき朝の始まる蝉の穴	2020. 6. 22	
			新しき朝に湿りし蝉の穴	2020. 9. 8	
			出口からDNAや蝉の穴		
			羽化の蝉飛んで風化の蝉の穴		
			飛び立ちし蝉を見送る蝉の穴		
罌粟の花	枕には頭の匂ひ春の昼			2020. 9. 13	
	枕には頭の匂ひ罌粟の花				
	枕には頭の匂ひ百合の花			2020. 9. 16	
	枕には頭の匂ひ芥子の花				

薔薇	薔薇ならば女母は女の子 <u>紅薔薇の女母の女の子</u> 女は薔薇女の子は母 女の子は母女は紅薔薇 女なら薔薇女の子は母 紅薔薇は女母は女の子 紅薔薇はクイーン母はプリンセス 紅薔薇のクイーン母のプリンセス 紅薔薇の母に母の女の子	2020. 9. 15	秋の暮	<u>焦がしたるバターに煙秋の暮</u>	2020. 9. 30
				焦がしたるバターに煙秋深し	2020. 9. 30
				<u>焦がしたるバターに煙秋の暮</u>	
				焦がしたるバターに煙年詰る	
			夜長	かさこそとペンの音する夜長かな	2020. 9. 23
				かさこそと夜長のペンの進む音	
				かさこそと夜長のペンを進ませて	
				かさこそとペンの歩める夜長かな	
				かさこそとペンを進める夜長かな	
				かさこそと夜長のペンの歩みかな	
	紅薔薇やコップの中に浮く氷 紅薔薇とコップの中の氷かな <u>紅薔薇とコップに浮ぶ氷かな</u>	2020. 9. 15		かさこそと秋の夜長のペンの音	
	紅薔薇のお城へのぼることもかな <u>紅薔薇のお城へのぼる日暮かな</u>	2020. 9. 15		<u>かさこそと孤独なペンの夜長かな</u>	
			かさこそと孤独なペンに夜の長き		
余花	花の宿今年は余花の宿となり 花の宿余花の宿なる今年かな <u>余花の宿となつてしまひし今年かな</u>	2020. 9. 9		長き夜に日本を目指す鳥数多	2020. 9. 23
				長き夜に日本へ渡る鳥数多 <u>飛ぶ鳥の日本を目指す夜長かな</u>	
徽	徽の香の微か天井高きかな 徽の香の微かに高き天井に 徽の香の微かに高き天井よ 徽の香に高き天井見上げをる 徽の香に高き天井みあげをる 徽の香に天井高くみあげをる 徽の香に天井高く見上げをる <u>徽の香に天井高き館かな</u>	2020. 9. 9 2020. 9. 15 2020. 9. 16		飛ぶ鳥の海を渡れる夜長かな	2020. 9. 27
				渡り鳥に夜長の海のどこまでも	
				渡り鳥に夜長の海の暗きかな	
				渡り鳥に日本の海の夜長かな	
				日本へ飛び来る鳥の夜長かな	
				日本へ旅する鳥の夜長かな	
				日本へ海を飛び来る夜長鳥	
				日本へ長き旅路の夜長鳥	
				飛ぶ鳥の海を行くなる夜長かな	
				飛ぶ鳥の海の上なる夜長かな	
	徽の神ある時特効薬賜ふ 徽の神むかし特効薬賜ふ 徽の神人に特効薬たまふ 徽の神人に特効薬賜ふ 徽の神特効薬を賜ふなり 徽の神特効薬を賜りぬ 徽の神より特効薬を賜りぬ 特効薬徽の神より賜りぬ 賜りぬ徽の神より特効薬 良薬を人に賜ひぬ徽の神 <u>良薬を徽の神より賜りぬ</u>	2020. 9. 16 2020. 9. 18	秋風	秋風の全長千里吹き渡る	2020. 6. 5
				秋風の千里の道を吹き渡る	2020. 9. 8
				千里来て千里を行くや秋の風	
				<u>千里来て千里遠くへ秋の風</u>	
花菖蒲	<u>花菖蒲崩るるやうに美しき</u>	2020. 9. 8			

秋雨	秋雨の高速道路二階建	2020. 7.23	運動会	湯の宿に運動会の歓声が	2020. 7. 5
	二階建の高速道路秋の雨	2020. 7.24		湯の宿に運動会の声聞こゆ	
	秋雨や別れ交はるジャンクション	2020. 9. 8		湯の宿に運動会の楽聞こゆ	2020. 9.16
	秋雨に別れて出合ふジャンクション			湯の宿に運動会の楽届く	
	秋雨の分離融合高速路			宿の湯に運動会の楽届く	2020. 9.17
	秋雨に別れては会ふ高速路			宿の湯に運動会の楽聞こゆ	
	秋雨やカーブに別れ高速路			宿の湯に運動会の楽きこゆ	
	秋雨やゆるいカーブの高速路			宿の湯に運動会の楽を聞く	
	秋雨や四つ角のなき高速路	2020. 9. 9		宿の湯に運動会の楽とどく	
	秋雨や板の伸びゆく高速路			宿の湯に遠き運動会の楽	2020. 9.18
	秋雨や四つ角消えし高速路	2020. 9.22		宿の湯にかすかに運動会の楽	
	秋雨や十字路消えし高速路		花火	旅人も花火も消えて夜が更けて	2020. 7. 1
	秋雨や十字路のなき高速路		蠨螂	蠨螂や猫は欠伸を噛み殺し	2020. 7.23
秋雨や大きくゆるく高速路	2020. 9.23		蠨螂に立ちはだかりし子猫かな	2020. 9. 9	
秋雨や信号のなき高速路			蠨螂の初対面なる蚯蚓かな	2020. 7.23	
秋の雲	翳雲以外もやはり秋の雲	2020. 9.27		蠨螂の付けることなきヘルメット	2020. 7.23
	翳雲以外も全て秋の雲		虫	玄関に家族の靴と虫の声	2020. 9. 9
	翳雲それも含めて秋の雲			玄関の靴の空つぼ虫の声	2020. 9.16
	翳雲にあらねど全て秋の雲			玄関に大小の靴虫の声	
	秋の雲いわし雲とはまた別の			玄関の空つぼの靴虫の声	
	秋の雲いわし雲とは限らない	2020. 9.28		玄関に空つぼの靴虫の声	
翳雲に似ても似つかぬ秋の雲			玄関に足の踏み場や虫の声		
天の川	月の夜の蛹の如く寝袋に	2020. 9. 6		玄関の靴は空つぼ虫の声	
	寝袋は蛹の如し天の川	2020. 9. 8		玄関の靴の虚ろや虫の声	
野分	散らかつてみても綺麗な野分後	2020. 9. 8	小鳥	チチと鳴く小さき小鳥の来りけり	2020. 9. 8
	散らかつてみても明るい野分後			チチと鳴く小さき小鳥と思はるる	2020. 9.15
	折れしもの倒れしものの野分後	2020. 9.10		チチと鳴くは小さき小鳥と思はるる	2020. 9.16
	散らかつて新しき美や野分後	2020. 9.14	桃	宵の口月に供へし桃を食ふ	2020. 9. 8
	散らかつてどこか綺麗な野分後			桃の世へ大きな種を吐き出せり	2020. 9.15
	散らかつて何故か綺麗な野分後			桃の世へ大きな種を産み出せり	2020. 9.21
	散らかつて生き生きとして野分後			桃の世へ大きな種を産み落す	
	散らかつて生き生きとある野分後			桃の夜に大きな種を吐き出せり	2020. 9.26
	散らかつて庭生き生きと野分後		葡萄	葡萄棚夜空のごとく露に濡れ	2020. 7.22
	散らかつて庭いきいきと野分後			葡萄酒も葡萄も買って旅終る	2020. 9. 9
	散らかつて庭いきいきと野分あと			葡萄酒も買って葡萄の旅終る	
	散らかりし庭がいきいき野分あと			黒雲の如き葡萄が皿の上	2020. 9.16
散らかつて庭うつくしや野分あと	2020. 9.16				
ちらかつて庭うつくしや野分あと	2020. 9.25				

春待つ 春を待つ長蛇の列のありぬべし 春を待つ長蛇の列のあるやうな 春を待つ長蛇の列となりぬべし 春を待つ長蛇の列のありさうな 春を待つ長蛇の列を思ひけり 春を待つ長蛇の列となりにけり 春を待つ長蛇の列に我もまた 春を待つ長蛇の列に加わりぬ 春を待つ長蛇の列の殿に 春を待つ長蛇の列のそこかしこ 春を待つ長蛇の列に足踏みす 春待つや長蛇の列の足踏みも 春を待つ長蛇の列のどこまでも 春を待つ長蛇の列のとぐる巻く 春を待つ長蛇の列の思ひあり 開門に長蛇の列や春を待つ 千万の長蛇の列や春を待つ 見えねども長蛇の列や春を待つ 門ごとに長蛇の列や春を待つ 我もまた長蛇の列に春を待つ 長き長き長蛇の列に春を待つ おのづから長蛇の列に春を待つ 厭はずに長蛇の列に春を待つ 春を待つ長蛇の列の最後尾 春を待つ長蛇の列が尾を振りぬ 春を待つ長蛇の列や風の中 春を待つ長蛇の列のその中に ふく風や長蛇の列に春を待つ 人はみな長蛇の列に春を待つ 夕暮や長蛇の列に春を待つ	2020. 9. 19	春待つ	百花園 百花の春を待つばかり 百花園 こぞり 百花の春を待つ 百花園 百花の春を待つ 静寂 百花園 百花の春を夢に見て 百花園 百花の春の遠くとも 春待つや 百花失せたる 百花園 今はまだ名のみ 春待つ 百花園 春を待つものを集めて 百花園 春を待つものばかりなり 百花園 春を待つものの静けさ 百花園 春待つや 百花に足りぬ 百花園 百花園 百花の春を待つ 静けさ	2020. 9. 19 2020. 9. 21	
		2020. 9. 21		春を待つ 幼子に泣く力あり 春を待つ 幼子に泣く力かな 泣く力即ち春を呼ぶ力 泣く力即ち春を待つ力	2020. 9. 22
			雪	雪の夜のぐずりてゐるはおねむの子 雪の夜のぐずりやすきはおねむの子 ゆきのよのわけなくぐずるおねむの子 雪の夜のぐずつてゐるはおねむの子 ゆきのよのぐずつてゐるはおねむの子 雪の夜にぐずつてゐるはおねむの子	2020. 9. 17 2020. 9. 18 2020. 9. 19
				明月や未来は少しづつ過去に 名月や未来は少しづつ過去に ふる雪や未来は少しづつ過去に	2020. 9. 19 2020. 9. 21
			氷	ウォーターとアイスは水と氷なり	2020. 9. 18
			手袋	気に入りの手袋で積む積木かな 気に入りの手袋で読む絵本かな 気に入りの手袋で指す絵本の字 気に入りの手袋で指す絵本の文字 手袋で好きな絵本を撫でてをる 手袋で好きな絵本を撫でてやる	2020. 9. 17
		2020. 9. 22			
			七五三	父母を我がものにして七五三 父母をわがものにして七五三 ちちははをわがものにして七五三	2020. 9. 15

雪達磨	雪達磨の腸に何入れるべき	2020. 7. 14	新年	一年の始めの月の寒さかな	2020. 9. 13
	詰め込みし雪の硬さや雪達磨			一年の始めの寒さ庭に立つ	
	詰め込みし雪の暗さや雪達磨			しんしんと年の始めの寒さかな	
	その中の雪の暗さや雪達磨			しんしんと年の始めの寒さなり	
	転がされ鉄の硬さの雪達磨	2020. 7. 18		しんしんと年の始めのめでたさよ	2020. 9. 29
クリスマス	転がして鉄の硬さの雪達磨	2020. 7. 19	初富士	初富士の頭から日が上る宿	2020. 9. 24
	転がして鉄より硬し雪達磨	2020. 9. 14		初富士の向ふから日が上る宿	
	転がして鉄の重さの雪達磨	2020. 9. 16		初富士の逆光となる宿屋かな	
	切りたての尖りしクリスマスケーキ	2020. 9. 11		初富士の逆光となる湯宿かな	
	切り分けて尖りしクリスマスケーキ			初富士を逆光に見る湯宿かな	
冬眠	切り分けて尖るはクリスマスケーキ	2020. 9. 15		初富士の逆光となる旅路かな	
	切り分けて鋭角生るる聖菓かな	2020. 9. 24		初富士の逆光となる出湯かな	2020. 9. 26
	切り分けて切先生るる聖菓かな	2020. 9. 28		初富士の大きな影の中にをる	
	切り分けてケーキの尖るクリスマス			時速百キロ初富士を右に見て	2020. 9. 25
	切り分けて尖るケーキやクリスマス			初富士をものの五分で通過して	
冬眠	冬眠の黒き田螺や泥の中	2020. 9. 15		初富士をものの五分で通り過ぎ	
	眠りをる黒き田螺や泥の中			初富士を右に左に通過して	2020. 9. 26
	冬眠の黒き田螺が泥の中	2020. 9. 16	鏡餅	未広がりといふにあらねど鏡餅	2020. 9. 30
			年賀状	歌留多より薄く大きく年賀状	2020. 9. 30
				歌留多より大きく薄く年賀状	